

PORTFOLIO



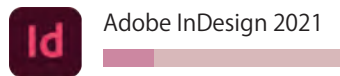
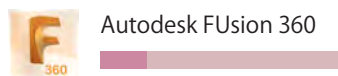
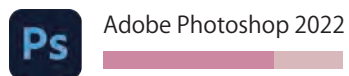
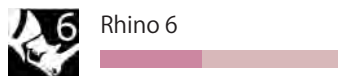
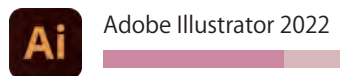


名前 熊谷翔子

経歴 2020年3月 川崎総合科学高等学校デザイン科 卒業
2021年4月 東京デザイナー学院 入学

資格 PD 検定 2 級

使えるソフト



目次

01	Treets värme	4
02	ZebranS	6
03	猫のリップケース	8
04	Flower vase	10
05	Hoom	12
06	感情豊かな町	16
07	応援団の家紋制作	17
08	お弁当箱用のゴムバンド	18
09	狐のお面	19

01 Treets värme

日常の思い出を飾る

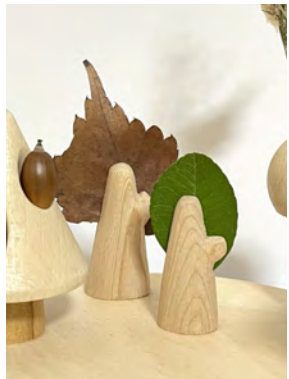
思い出を飾る雑貨を製作。日常の中にある小さな思い出に注目し、子どもが遊びから帰るときに持って帰るどんぐり、落ち葉などの公園からの思い出を飾ることが出来る雑貨を作った。「Treets värme」は持って帰った自然をそのまま活かして飾り、木のぬくもりで温かい気持ちにさせてくれることから「木の温かさ」をスウェーデン語に変換した。



形を変えていく Treets värme

子どもは毎日のように遊び、何かを拾ってくる。拾うたびに飾っていくと、少しずつ形を変えて、見る人を楽しませてくれる。

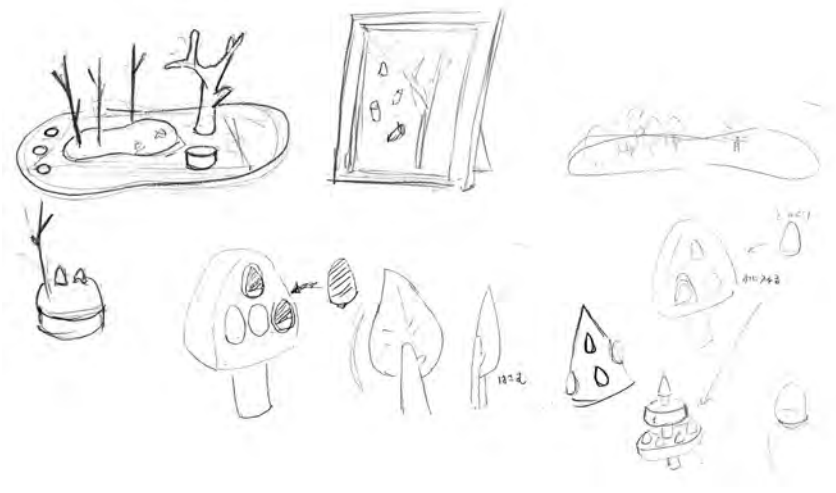
1年間飾り続けていけば、春夏秋冬、それぞれの季節の移り変わりをこの雑貨を通して感じる事が出来る。



木に 1.5mm 程度の間隙があり、そこに
落ち葉を挟んで飾ることが出来る。
挟むことで木に葉が生えたみたいになる。

葉の部分のくぼみにどんぐりなどの
小さい物を飾ることが出来る。

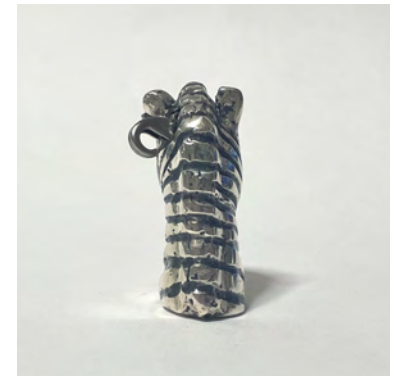
それぞれの穴の大きさに合わせて木の
枝や花を飾ることが出来る。



02 ZebranS

片づけられないネックレス

学校内で行われた「Dマーケット」の展示に向けて制作した作品。テーマは「NEXT STANDARD」。新しい基準として、今までは「ネックレスは外したらしまう」と考えていたものを、「ネックレスは外したら飾る」と考えて制作した。材料は銀粘土を使用した。





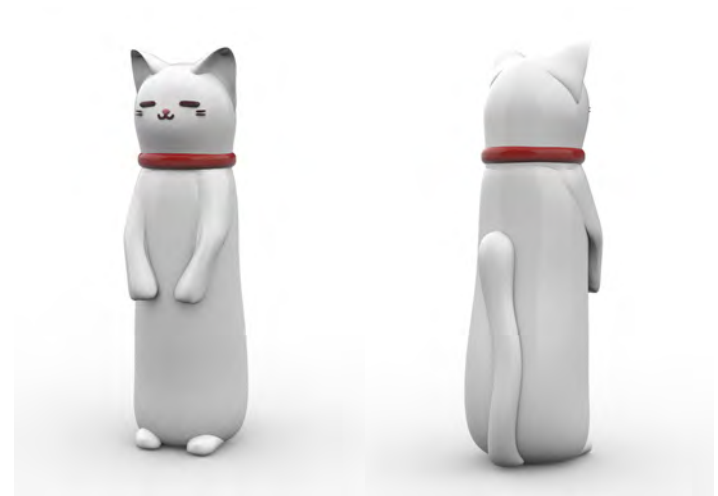
ネックレスからオブジェへ

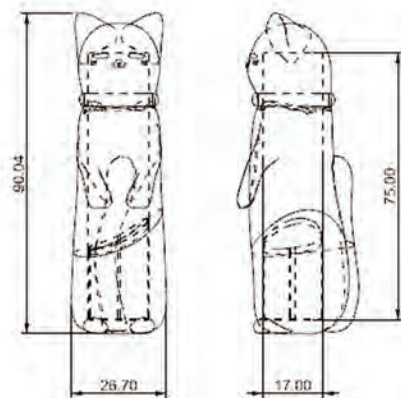
シマウマの中にチェーンを入れることが出来るので、入れた後は片づけずに棚などに置くだけでオブジェとして成り立つ。また、ファッションでゼブラ柄が流行っていたので、柄に合わせてモチーフをシマウマにした。



03 猫のリップケース

猫好きのためのリップケース 猫といえば可愛い。なので、その可愛さを保つために、ケースを開けたとき、横まっすぐではなく斜めになっている。また、ターゲットが20代後半なので、少し落ち着いた可愛さにするために、表情をシンプルに作成した。種類は白、黒、茶の3種類展開している。



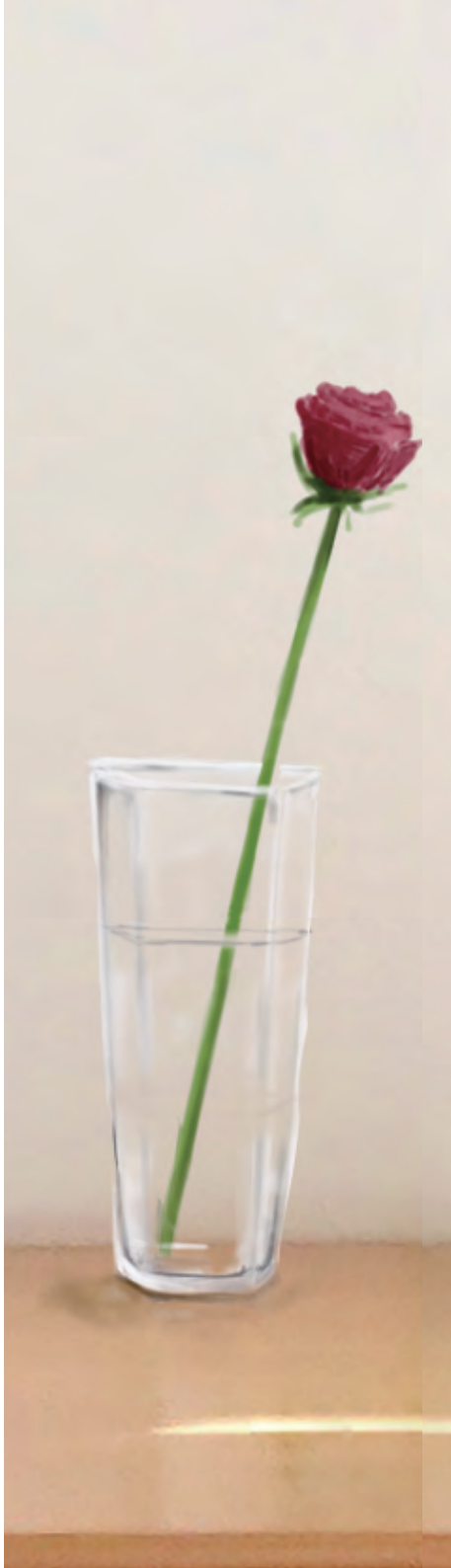


04 Flower vase

最後まで飾り続けることが出来る花瓶

切り花の日持ちをよくするための「水切り」に着目してデザインした花瓶。水切りは、毎日少しずつ茎を切ることで日持ちを良くしていく方法のため、どんどん茎が短くなっていく。茎が短くなっていけば、それに合わせて花瓶を変えていかなければならない。その工程をなくすことが出来る。

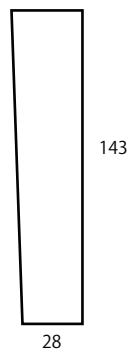
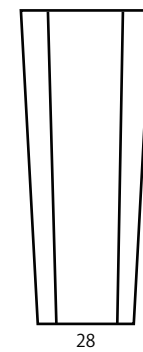
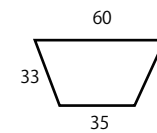




一つの花瓶で楽しめる

水切りをすることで茎が少しずつ短くなっていく花。その花が花瓶の中に収まったとき、切り花として楽しんでいたものからオブジェとして楽しむものになる。

花瓶を棚の上に乗せたときに壁にぴったり寄せられるように台形の形をしており、下の部分の幅を少し狭くしたことで、花が短い状態でも立つようになっている。



05 Hoom

エコバックに花を咲かせる

新しい要素が入ったエコバック製作。
エコバックに自由に花を付けることが出来るという新しい要素をいれた。



その日の気分に合わせて

花を好きなように付けることが出来るエコバック。自分で楽しみながら花を咲かせていたり、その日にあったエコバックで充実した一日が過ごせることができます。



バッグを一から組み立てる

バッグと花、それぞれ透明のスナップボタンがついており、ボタンで花を付けるような仕組みになっています。バッグ本体から組み立てることで、好きな形で好きなように花を咲かせることが出来るので、一から作る楽しさを生み出すことが出来ます。

• ロゴ制作

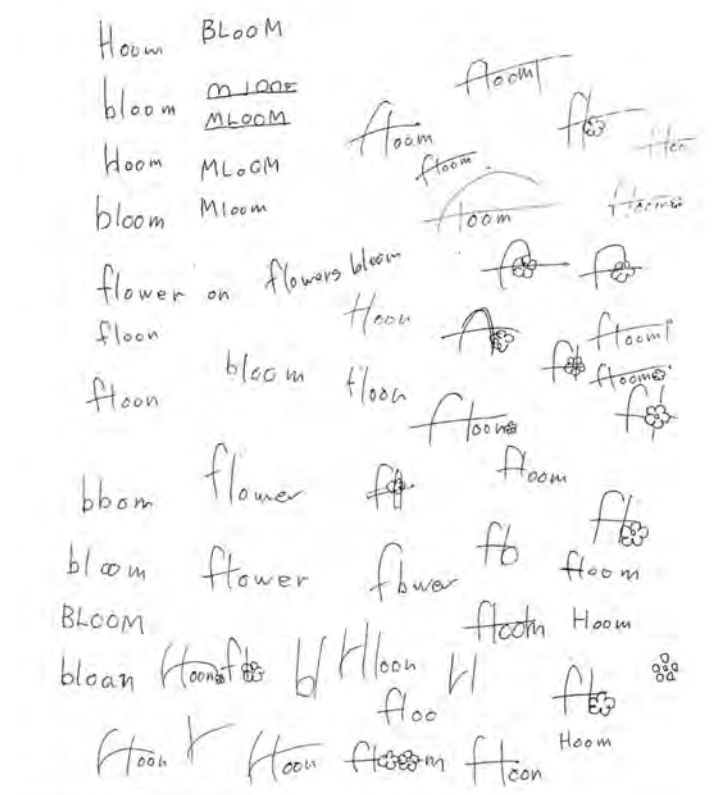
新しいエコバック「Hoom」のロゴを製作した。



花を付ける特徴を取り入れる

エコバッグに花が咲くことから、英語で“Flowers bloom”の「F」と「loom」を取ってくっつけて出来た名前。「H」をエコバッグの取っ手の部分に見たてて特徴である花とボタンをロゴに取り入れた。

手作り感のあるエコバッグなので、手書きのようなフォント「segoe print」を使用しました。



・DM デザイン

エコバックの展示会があるという設定で製作したDM デザイン。



表

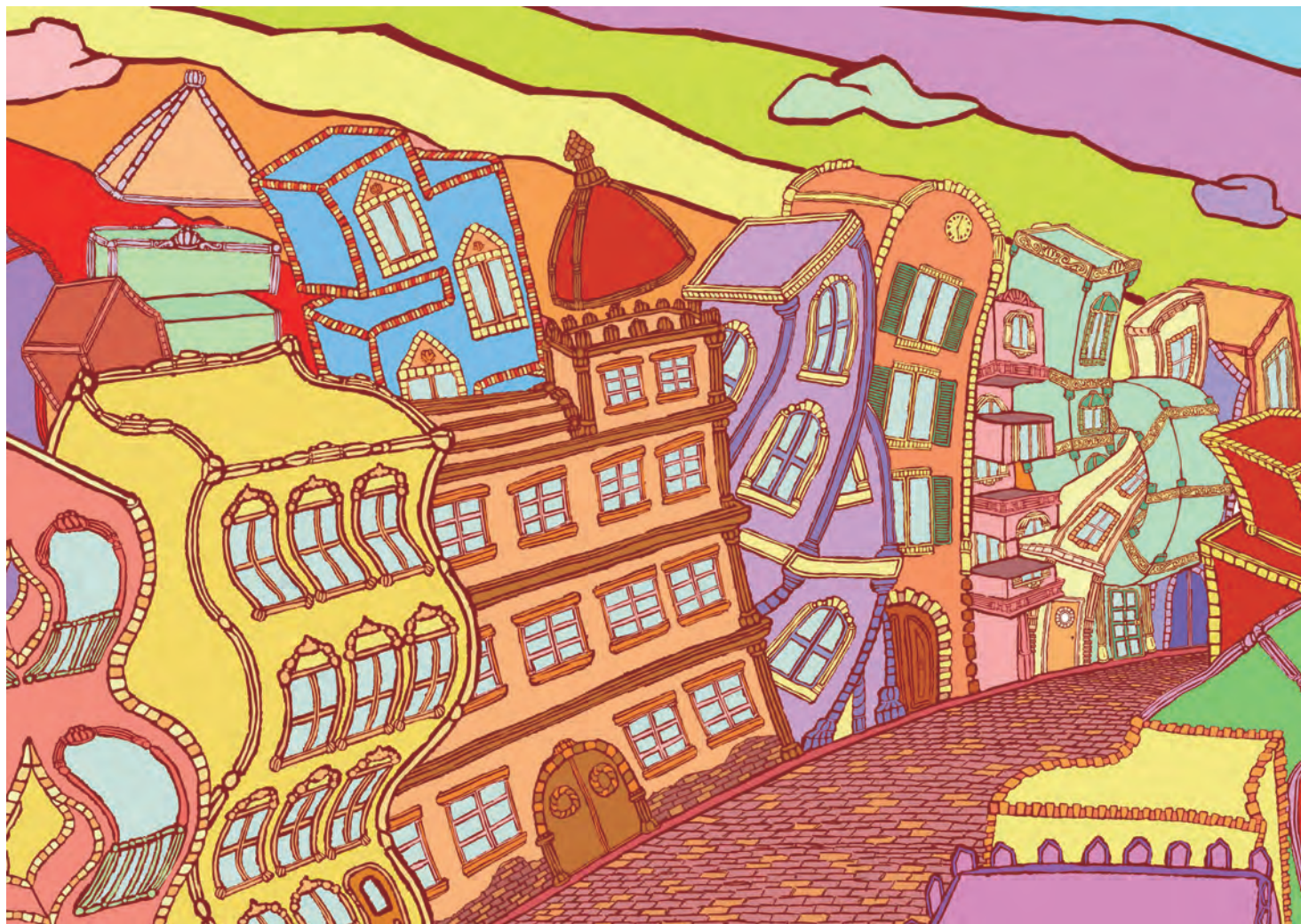


裏

花を魅せるために、背景はペンで書いたカバンに花を置いた構成にしました。ロゴの下には「Flower Mloom in ECO-BAGS」, エコバッグに花が咲くという英文を記載した。

06 感情豊かな町

高校時代に町田デザイン専門学校主催の「第5回街並みスケッチコンクール」に応募したイラスト。
フリーペイントツールの「Fire Alpaca」をしようして描いた。

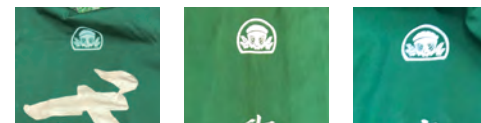


ただ建っている建物を描くのではなく、面白くしたかったので、建物に動きをだして描いてみた。

そのとき、まるで感情を持っているように見えたため、色をカラフルにしてみた。また、カラフルな建物を想像した時にイタリアの建物が思い浮かんだので、全体的にイタリアのような町にした。

07 応援団の家紋制作

高校生時代のころに応援団の法被に印刷するための家紋をデザインをおこなった。
ブロックのパネルのモチーフになっている「ティキ」をイメージして製作。



08 お弁当箱用のゴムバンド

業者に外注したアクリルを使って制作したもの。
コンセプトは「現代人が見る、感じる和風レトロモダンな大正雰囲気の商品」



大正雰囲気を感じるように、色合いを意識してデザインしました。全体的に落ち着いたような暗めの配色に設定し、花や図形をつかってシンプルな構成にしました。

ゴムバンドは、お弁当場にはめて使用するものと、紐を一周させ、アクリルのパーツの部分に引っかけて使用する2つのタイプがある

09 狐のお面

真空成型で型を取って着色を行ったお面。



四季の中で春が一番好きなので、春っぽさを出すために、全体的にピンク系の色を使い、頬には桜の木をイメージして着色をした。

狐のお面で悲しい表情のお面をあまり見たことがなかったので、涙を流しているような表情で描いてみました。

ご閲覧ありがとうございます。